

招 集 期 日	平成 2 9 年 1 1 月 1 3 日 ( 月 )		会議の場所	学校給食センター
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 3 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 1 4 時 1 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	高 瀬 賢 一 委 員	出 席	
春山教子教育長職務代理者	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿 沼 拓 弥 委 員	欠 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	橋本教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	山木スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開会	教育長	11 月定例教育委員会を開会		
日程第1 前回会議録の承認	教育長	教育委員会の会議は公開が原則であるが、人事に関する事件、その他の事件については、出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した時は、公開しないことができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、すべて公開としてよろしいか。		
		異議なしの声あり		
	教育長	10 月定例教育委員会の会議録の承認について諮った。		
		異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 から 5 について、生涯学習課長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2</p> <p>報告事項1 第34回「彩の国21世紀郷土かるた」羽生市大会の開催について</p> <p>報告事項2 平成30年羽生市成人式の開催について</p> <p>報告事項3 平成29年度羽生市公民館利用団体人権教育講座の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p> <p>生涯学習課長</p> <p>生涯学習課長</p>	<p>12月2日に、市民プラザ大会議室を会場として開催する。羽生市子ども会育成会連絡協議会と羽生市教育委員会との共催で、実行委員会形式で運営する。市内の小学生全学年を参加対象とし、団体戦及び個人戦を行う。団体戦については、正式には交代要員1名を含む1チーム4名、男女混成だが、羽生市の大会では混成の制限は設けていない。県大会に出場する場合は、混成チームとして編成しなおす。団体戦、個人戦とも小学校ごとの各地区3チームの出場が可能であり、前年度優勝・準優勝地区はその部門に限り1チーム増やすことができる。昨年度の優勝は団体戦が須影地区、個人戦が新郷第二地区であった。</p> <p>平成30年1月7日に、産業文化ホール大ホールを会場として開催する。主催は羽生市、羽生市教育委員会、羽生市成人式実行委員会である。対象者は、羽生市に住所を有し、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに出生した方であり、申し出があった場合は、転出者でも参加できる。今回の該当者は、男310名、女301名の合計611名である。式典の前に恩師を交えた同窓の集い・中学の思い出のビデオを上映する。式典の流れとしては、市民憲章の唱和、開式のことば、国歌斉唱の後、市長より10分程度のお祝いのことばをいただく。そして、祝電披露、新成人代表による誓いのことば、花束贈呈、閉会のことばとなる。その後、記念行事としてプレゼントの抽選会を行い、続いて中学校区ごとに集合写真を撮影する。成人式実行委員会は、各中学校から推薦された新成人12名と、再来年成人式を迎える、1学年下の準備委員6名、計18名で組織している。</p> <p>羽生市教育委員会、公民館、羽生市人権教育推進協議会の共催にて公民館の利用団体を対象に開催する。中央公民館においては、平成30年1月27日、2月17日、3月10日、井泉公民館においては、1月14日、2月10日、3月3日の</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 羽生学講座Ⅶ公開講座の開催について</p>	生涯学習課長	<p>日程で実施する。講座は、「高齢者の人権」と題して教育アドバイザーの関根トミ子氏、「女性の人権」と題して羽生市教育委員会委員の春山教子氏、「私たちと人権」と題して羽生市教育委員会生涯学習課職員が講義を行う。</p> <p>羽生市南に所在する正覚院は、加須市の不動尊の本寺であったということであり、羽生の宮大工・三村氏が不動尊の建立に携わるなど、羽生市との関係は深かったようである。正覚院と不動尊の関係を事例にしながら、近世羽生領における信仰や社寺の運営について探り、身近な歴史や文化を学ぶ機会とするものである。平成30年2月24日に開催する。会場は、仮に市民プラザとしている。羽生市文化財保護審議委員の坂田英昭氏を講師とし、受講者40名程度を募集する。</p>
<p>報告事項5 第31回羽生市高齢者のつどい(いきいき運動会)の結果について</p>	生涯学習課長	<p>10月27日に、羽生市体育館メインアリーナで羽生市教育委員会と羽生市公民館連絡協議会の共催にて開催した。市内9地区の75歳以上の方計314名の参加があり、準備体操から始まり、ゲートインボール、スプーンレース、大玉送り、個人戦じゃんけん対決、フロアカーリング、玉入れを行った。今回から名称に「いきいき運動会」が加わり、高齢者というイメージではなく、少し気持ちが若くなるような運動会になった。高齢者の心身の健康増進を図り、生きがい、地域参加、地域づくりの担い手としての課題に取り組むとともに、お互いの交流を深めることができたと思う。</p>
<p>報告事項6 第31回羽生市民体育祭の結果について</p>	教育長	<p>報告事項6及び7について、スポーツ振興課長から説明を求めた。</p> <p>市民体育祭については、10月22日に羽生中央公園陸上競技場にて開催の予定であったが、開催数日前から雨天が続いた上、台風接近による荒天も予想されたため、10月20日に臨時役員会を開催し、実行委員や各地区体育振興会長との協議の結果、開催を</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項7 第13回羽生市フロアカーリング大会の開催について</p>	<p>スポーツ振興課長</p>	<p>中止した。各地区推薦の実行委員にて2回の会議と約160人の役員を対象に全体会議を開催し、準備を進めてきた。また、衆議院議員総選挙の投票日と日程が重なってしまったこともあり、当初予定していた市役所職員の配置等に苦慮しながら調整したこともあり、非常に残念な結果であった。中止の案内は、市のホームページ、メール配信、ラインやツイッターにより情報発信するとともに、市の行政防災無線により前日及び当日に一斉放送した。大会は中止されたが、実行委員による反省会を催し、次回に活かすため様々な意見を伺った。</p> <p>平成30年1月14日に、羽生市体育館にて開催する。1チーム3名とし、予選はリーグ戦、決勝はトーナメント戦で行う。フロアカーリング大会は、年2回開催しており、6月に開催した大会は、日本フロアカーリング協会公認で、市外からの参加も可能な全国大会であったが、今大会は、市内在住、在勤、在学者を対象とする大会である。昨年度は96チーム368名の参加があり、小学生から高齢の方まで幅広い年齢層で楽しめる大会となっている。</p>
<p>報告事項8 「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座」の結果について</p>	<p>教育長</p>	<p>報告事項8について、図書館長兼郷土資料館長から説明を求めた。</p>
	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>10月16日に羽生市立図書館にて開催した。浦和子どもの本連絡会会員である吉田優子氏を講師に招き、受講者は、2歳から3歳の子どもの保護者計17名、ボランティア希望者7名の、合計24名であった。今回は、子どもの名前がわかるよう、名前を書いたテープを子どもの衣服に貼り、コミュニケーションを図る方法とり、講座を和やかに進めることができた。講座終了後30分程度、講師とボランティア希望者の質疑応答等を行った。新しく3名の申込があり、既存のボランティア団体に加わって定期行事の「ちいさなおはなし会」等で活動していただくことになった。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	春山委員	絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座に関して、子どもが図書館を利用することは、非常に意義のあることであると思う。また、子どもが図書館に触れるお手伝いをする地域ボランティアを養成することも大事であると思う。より多くの親子が、このような事業があることを知り、図書館に足を運べるような工夫を続けていただきたい。
	高瀬委員	市民体育祭については、雨で中止となったのは今回で2回目であり、非常に残念だった。開催2日前に中止が決定され、その連絡は徹底することができたと思う。その後の反省会ではどのような反省点や改善案等があったか。
	スポーツ振興課長	各地区役員からの意見として、出場する選手の人数を見直し、競技によって増やしたり減らしたりすることについて提案があった。市民体育祭は今後いつまで続けていくのかという話題も出たが、市のスポーツ振興に携わる側としては、市民体育祭を通じて地域のコミュニティを育てていきたいという観点から、今後も継続して開催したいという話をさせていただいた。
	教育長	高齢者のつどいについて、多くの方が参加しやすくなるよう、名称に「いきいき運動会」を加えたが、このことについて参加者から何か意見はあったか。
	生涯学習課長	今の高齢者は元気で動きが機敏であり、高齢者と呼んでは失礼という感じがする。「いきいき運動会」というサブタイトルについては、参加者からもその方が若々しい感じでよいという意見をいただいた。来年度からは名称から「高齢者のつどい」を無くし、「いきいき運動会」と改め、開催したい。
	春山委員	いきいき運動会に参加させていただいたが、皆さん本当に和気あいあいと、楽しそうであった。75歳の方でもまだ高齢者ではない感じがしたので、是非若々しいイメージで、市民体育祭と並ぶ

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習課長	<p>もう一つの運動会として継続して開催していけると良いと思う。</p> <p>成人式については、ここ何年か参加させていただいている。羽生市の成人式は新成人自ら実行委員となり企画しているが、式典は30分間という短い時間であるため、市長のお祝いのことば10分間を除くと、わずかな時間である。実行委員会の若々しい力を十分に発揮できるのだろうか。</p> <p>羽生市を出て遠くに行っている方もいるため、こういう場でない、ふるさと羽生市のことを新成人にPRできないということであるが、市長のお祝いのことばは最長で10分ということをお願いしてある。実行委員会では何回か打合せを実施し、式典の運営だけではなく、プレゼント抽選会の賞品やインターネットを利用した集合写真の配信など、色々意見を出し合いながら、自分達で成人式を作り上げてもらっている。伝統的な式典の形はきちんと取るが、良いアイデアが出れば採用して新しい事も取り入れていきたい。</p>
	平野委員	成人式には、該当者のうち出席する割合はどのくらいか。
	生涯学習課長	8割くらいの方が出席している。
	教育長	羽生市では、比較的参加率が高い。以前は30分間の式典でさえ混乱していた状況もあったが、ここ数年間はだいぶ落ち着き、新成人が行事に対し協力的になってきている。市長は新成人に対し、羽生市が頑張って発展しているという想いを伝えるため、力説していることと思う。
	平野委員	成人式全体の時間は毎年この位なのか。実行委員が運営し、これだけ大勢の人が集まるのだから、折角なのでもう少し行事があると良い気がした。
	生涯学習課長	式典の時間は短い、そのあと会場を移して、学校区ごとに同窓会のようなものを開いているとの事である。実行委員たちはそちらにも重点を置いているようである。

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 議案第42号 議会の議決を経るべき 議案について(平成 29年度教育費補正予 算(第5号)について)</p>	教育長	<p>記念品についても、その世代のニーズに合わせて、今年度はタンブラーに決めたそうである。その年ごとの実行委員の思いがある。</p>
	高瀬委員	<p>昔は新成人に会場の中に入れてもらう事自体が大変であった。ここ数年は皆会場に入り、ビデオを見ている。良いアイデアだと思った。</p>
	生涯学習課長	<p>オープニングの恩師を交えた同窓の集いで上映するビデオは中学校ごとに作成され、中学校当時の映像や恩師からのお祝いの言葉などが入っている。ビデオは実行委員会が作っており、実行委員それぞれ恩師に会いにいき、取材したりしている。手作りであることで大変効果があり、皆会場に入って着席してもらえている。</p>
	教育長	<p>実行委員が積極的に他の新成人に会場に入るよう声掛けし、誘導している姿が見られ、良い光景だと思っている。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>議案第42号について教育総務課長から説明を求めた。</p>
教育総務課長	<p>平成29年度の教育費の補正予算を、12月議会に上程する案である。歳入、歳出予算としては、教育総務課分として、小学校施設建設事業において、井泉小学校の校舎に階段昇降機を設置し、校舎、体育館及び連絡通路部分にスロープを設置する等、段差解消を行うための工事請負費5,496千円を計上する。また、中学校施設建設事業においても、東中学校で同様の工事請負費6,086千円を計上する。その理由としては、それぞれの学校に平成30年4月に、車椅子を使用する児童生徒が入学することが決まったため、年度内に工事を完了すべく、今回補正予算を要求するものである。その他、学校教育課分として、小学校費の教育振興一般経費にお</p>	

会議事件名	て ん 末	
		<p>いて、臨時職員賃金 1,600 千円を要求する。三田ヶ谷小学校と南小学校に配置した教育支援員の賃金が不足する見込であるため、所要の措置を取るものである。</p> <p>続いて、債務負担行為については、生涯学習課分として、ムジナモ保護増殖委託を提出する。期間は平成 30 年度、限度額は 1,500 千円である。埼玉大学にムジナモの調査研究を委託しているが、それに伴う研究材料を調達するために 2 月頃から業務委託の準備を始めるため、債務負担行為を行うものである。また、図書館分として、羽生市立図書館窓口業務等委託を提出する。期間は平成 30 年度から平成 32 年度まで、限度額は 70,650 千円である。現在も委託業務で行っている窓口業務を継続するため、債務負担行為を行うものである。</p> <p>教育長 議案第 42 号について、意見・質問を求めた。</p> <p>春山委員 図書館の窓口業務等委託の内容について説明をお願いする。</p> <p>図書館長兼郷土資料館長 窓口業務の内容は、図書の貸出及び返却を行うカウンター業務であるが、その他に門の開け閉め、開館及び閉館業務、その他おはなし会等を実施する事業開催業務、相談によるレファレンス業務等があるため、「窓口業務等」としている。</p> <p>平野委員 ムジナモ保護増殖委託は、毎年この金額で実施しているのか。</p> <p>生涯学習課長 これまでも毎年、同額で埼玉大学に委託している。年度ごとに契約する委託業務を債務負担行為とする理由は、2 月に申込手続きを行っており、これが契約に着手することと見なされるためである。</p> <p>教育長 議案第 42 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>



会議事件名	て ん 末	
	教育長	議案第 42 号は、可決された旨宣した。
	教育長	次回教育委員会日程について事務局より説明の旨。
	教育総務課長	12 月定例教育委員会は、12 月 13 日 午後 1 時 30 分より教育委員室にて開催する。
	教育長	閉会を宣した。
		<u>教育長</u>
		<u>委 員</u>
		<u>委 員</u>
		<u>書 記</u>